

📷 親子都市交流事業 📄

📍 秋田県由利本荘市

📅 (派遣) 10/23(水)～25(金)
(受入) 11/6(水)～8(金)



中学生同士による相互交流

由利本荘市(旧岩城町)とは、昭和61年に「親子都市」を締結し、平成8年度からは、岩城中学校と市内の中学校との相互訪問を重ねています。

本年度は、内郷第二中学校1年生22人が由利本荘市を訪問し、剣道や茶道体験を行い、その後、岩城中学校1年生30人が来市し、フラ体験や内郷回転櫓盆踊りへの参加を通じて交流を深めました。

#親子都市 #由利本荘市 #内郷第二中学校

📷 兄弟都市交流事業 📄

📍 宮城県延岡市

📅 (受入) 8/6(火)～9(金)



兄弟都市ジュニア交流隊

延岡市とは、平成9年に「兄弟都市」を締結し、平成11年度からは、小学生の派遣・受入を隔年度で交互に行い、お互いの歴史・文化についての理解を深めています。

本年度は、市内の小学生10人が延岡市の小学生9人をお迎えし、いわき震災伝承みらい館やアクアマリンふくしまの見学、いわきおどりへの参加などを通じて交流を深めました。

#兄弟都市 #延岡市 #小学生

📷 いわきFC・市長表敬訪問 📄

📍 いわき芸術文化交流館

📅 11/18(月)



いわきFC J2リーグシーズン終了報告

#サッカー #いわきFC #J2リーグ #まちづくり

11月18日、いわき芸術文化交流館アリオスにて、サッカーいわきFC・J2リーグシーズン終了報告のため市長表敬訪問が行われました。

J2リーグ2年目となった今季は、20チーム中9位の成績で終わりました。山下優人選手から「来年はもっと飛躍できるようにチーム全員で戦っていきたい。また1年間、よろしくお願いいたします。」とあいさつがあり、内田市長からも「いわきFCは単なるプロスポーツクラブではなく『まちづくりのパートナー』、これからともに、いわき・浜通りの真の復興の姿を見せましょう」と呼びかけがあり、さらなる活躍を熱望しました。

「市長と地域ふれあいトーク」を実施

四倉地区、久之浜・大久地区

10/21(月)



▲「四倉ガーデン実行委員会」の皆さん



▲「大久じゅうねん保存会」の皆さん

四倉地区、久之浜・大久地区で開催

#四倉 #久之浜・大久 #颯サイクル #大久じゅうねん #ふれあいトーク



10月21日「市長と地域ふれあいトーク」を四倉地区、久之浜・大久地区で開催しました。四倉地区では「四倉ガーデン実行委員会」の皆さんと、活動内容の報告やいわき七浜海道サイクリングロードの魅力発信について意見交換した後、レンタルサイクルショップ「颯サイクル」を視察しました。久之浜・大久地区では「大久じゅうねん保存会」の皆さんと、栽培ほ場を視察したほか、団体の活動状況の報告や久之浜・大久地区の現状、今後の展望などについて意見交換を行いました。

※じゅうねん…「エゴマ」の地域愛称名

写真が語る「いわき」の歴史



自動車のための道路

江戸時代の飛脚、大名行列、荷車、明治時代の人力車、荷馬車、そして自転車の登場あたりまで、道路は人が往来するための受け皿的存在でした。

しかし、大正時代末期、“新参者”の自動車が始めたことによって、道路事情は大きく変化しました。最初は外国産の自動車が輸入されましたが、昭和時代に入ると国産車が造られるようになります。自動車時代の到来が予感されました。

昭和4（1929）年、平小名浜の直線道路による自動車専用道路



■写真 鹿島街道新設工事、横切る旧道バス、小名浜方面を見る〔昭38(1963)年3月、比佐不二夫氏撮影〕

が計画されます。この年、国庫補助が盛り込まれた「産業道路改良計画」が発表されており、全国の主要都市でこのような計画が打ち出されました。

昭和8（1933）年に政府が策定した「第二次道路改良計画」は、自動車交通を前提とした道路整備を目標としたものでした。

開通すれば半分弱の20分程度に時間短縮される、と夢のような計画に対し、昭和9（1934）年6月14日付『磐城新聞』は「いつの事やら、実現は蓋（まさしくの意）し程遠い将来である」と報じていました。

その後、戦時色が濃くなつてガソリンの輸入が途絶え、「車社会」の実現は遠のいてしまいました。

40〜50分を要した平小名浜が20分弱で結ばれたのは昭和41（1966）年のことです。このルートは昭和時代初期の計画をなぞったものでしょうか。

（いわき地域学會

小宅幸二）